



<自由記載> 各項目で4~5個のみ記載

○今日の実験で、面白いと思ったことを二つ書いてください。

- どのような地図が2色で塗ることができるのかを19枚の地図を使ってかんがえていく過程に興味を持てた。
- 決まった形なら、線を加えても、塗り分けられる色の数は変わらないということ。
- 一見すると数学の問題でないような色分けの問題も、数学的技法を用いてどんな地図でも4色で塗り分けることができるということ。
- 地図の塗り分けを、「集合」や「グラフ」という、今まであまり関係ないと思っていた概念と結び付けて考えることができると分かったこと。
- 一見不規則な図でも、ちゃんとした法則の下で作られていて2色や3色に分けられていることや、図をグラフに直す発想に興味を持ちました。

○今日の感想を自由に書いてください

- 今まで自分の感覚で4色に塗れるかを考えていたが、なぜ塗れるのかという理由がわかってよかった。今の時点の知識では理解できなかった部分もあったので、また今後理解していきたい。
- 地図の塗り分けという身近な切り口から四色問題という学校では扱わないような難しい数学的問題を少し覗くことができたと楽しかった。
- 「四色定理」というと難しそうだが、自分で実際に活動しながら、考えつつ授業を受けることができたのでよかったと思う。
- 「四色問題」など、地図の塗り分けの話をもっと深くまで知ることができてよかったし、楽しかったです。先生や大学生の方々にも、いろいろ教えていただき、本当に助かりました。ありがとうございました。
- 地図を4色以内で塗り分けられるということを証明するのにグラフを使ってできるということに驚きました。これを証明するのに長い年月がかかりました。僕もリーマン予想やフェルマーの最終定理などを解決してみたいです。